

## 令和5年度第3回羽島市地域福祉計画策定委員会 議事録要旨

1 日時 令和6年2月26日（月）午後1時30分～午後2時30分

2 場所 羽島市役所 3階 301会議室

3 出席者(敬称略)

社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会 理事長	川合 宗次
社会福祉法人万灯会 施設長	平井 崇広
社会福祉法人はしま 主任施設ケアマネージャー	熊谷 ユミ
社会福祉法人伝心会 介護支援専門員・管理者	吉村 奈緒美
羽島市民生委員・児童委員協議会 会長	浅井 廣志
羽島市社会福祉協議会 常務理事	伊藤 克巳
社会福祉法人中島保育園会 園長	山本 千佳
羽島市自治委員会 副会長	吉川 功
羽島保護区保護司会 保護司	鈴木 明美
公募委員	浅野 弓子
公募委員	中島 喜美子

4 議事

(1) 羽島市地域福祉計画について

- ・パブリックコメントの結果について
- ・第3期羽島市地域福祉計画（案）について

## 《議事1》

### 羽島市地域福祉計画について

- ・パブリックコメントの結果について
- ・第3期羽島市地域福祉計画（案）について

【委員】64ページの「地域において、多世代交流ができる集いの場となる事業を実施する場合は、必要に応じて推進や支援を行います」について、前向きな表現でお願いしたい。

【事務局】「地域において、多世代交流ができる集いの場となる事業を実施する場合には、必要な支援を行います」と修正させていただきます。

【委員】67ページの「福祉共育」の「共育」について、読み方は「きょういく」と「ともいく」のどちらにされるか。県社会福祉協議会では「ともいく」と読んでいる。また、68ページの下部で「福祉教育」と記載されているので、統一してほしい。

【事務局】「福祉共育」の「共育」は「ともいく」と読むことにします。読み方のルビを打って、「福祉共育」の言葉の意味を記載させていただきます。「福祉教育」と記載されている箇所は「福祉共育」に修正させていただきます。

【委員】51ページに「家計改善支援事業」「就労準備支援事業」をはじめとした生活困窮者自立支援制度の充実に努めるとあるが、充実に努めるということは、既に実施しているという認識でよいか。

【事務局】事例としてはまだありませんが、市が直営で実施している状況です。

【委員】子どもの関係で、法改正が多くあったと思うので、実際の相談支援体制に反映していただくようお願いしたい。

【事務局】国の方針や各施策との整合性を取りながら進めさせていただきます。

【委員】65ページの「支え合い・助け合い意識を高める」の下部について、障がい者に対する理解を深めるだけでなく、例えばその生活を支援しましょうといった行動を促すような文章を追加してはどうか。それから、66ページの地域の取り組みについて、高齢者や障がい者の家族への思いやりについても、行動に繋がるような言葉を追加してはどうか。また、市・社会福祉協議会の取り組みについて、市職員や福祉施設、事業所等に対し、

障がい者に対する合理的配慮の周知・徹底に努めますと、一步踏み込んだ表現はどうか。

**【事務局】** 65ページについては「障がい者に対する理解を深め、共に助け合うまちづくりを進めましょう」と修正させていただきます。66ページについても、そのような方向で修正させていただきます。

**【委員】** 子育てハンドブックを作成・配布をされたと思うが、あまり浸透していないのではないか。

**【事務局】** 実際に配られた方は読むことができますが、その他の方々への周知度は低くなっているのが現状です。ハンドブック内の重要事項につきましては市ホームページでご覧いただけるようにするなど、情報の周知に努めてまいります。

**【事務局】** 本日いただいたご意見を踏まえ、第3期羽島市地域福祉計画を策定させていただきます。なお、計画の細部の修正などにつきましては、事務局で対応させていただきますので、ご了承ください。策定しました計画書は、委員の皆様にお配りさせていただくとともに、市ホームページへの掲載を予定しています。